



消防大学校だより

緊急消防援助隊教育科NBCコース(第2回)

消防大学校では、平成25年2月25日から3月8日までの12日間、全国から集まった緊急消防援助隊のNBC災害対応要員等64名に対し、その業務に必要な知識及び能力を習得させることを目的として「NBCコース」(第2回)を実施しました。

本コースは、NBC災害対策科目を中心とした構成となっており、特殊災害対応要員、消防学校においてNBC災害対策業務を担当する者を対象とし、NBC災害対応における現場管理(初動活動要領、部隊運用要領、現場指揮要領)の習熟に重点を置いたカリキュラム構成としています。

座学では、消防庁国民保護・防災部防災課国民保護運用室課長補佐による「NBCテロ対策」の講義をはじめ、各方面で活躍されている方々からの講義によりN(核物質)、B(化学物質)及びC(生物剤)災害発生時におけ

る活動要領及び専門的知識の習得を図りました。

実科訓練では、東京消防庁日野消防署化学機動中隊から先着小隊の初動対応及び指揮隊による部隊運用について、横浜市消防局特別高度救助部隊及び機動特殊災害対応隊からBC災害発生時の活動要領について、横須賀市消防局南消防署特別救助隊から放射性物質輸送時における事故発生時の活動要領について、講義、訓練展示、訓練指導と細やかな指導を受けました。最終段階では、学生による「出動指令」、「防護服着装」、「出動」、「時間差現場到着」、「先着隊の活動」、「指揮隊・後着隊の活動」、「増強隊要請」、「終焉」といった一連の流れを想定した総合訓練を実施するとともに、訓練実施後の検討会では活発な意見交換を行いました。

今後は、消防大学校での教育訓練の成果をそれぞれの所属において大いに発揮し、更なる活躍が期待されます。



総合訓練・陽圧防護服着装



総合訓練・現場指揮本部

予防科(第92・93期)

平成24年度において、消防大学校予防科の教育訓練は、平成24年8月27日から10月16日の期間で第92期が、平成25年1月15日から3月5日の期間で第93期が、それぞれ48名の学生の入校の下、約1カ月半にわたる研修を実施・修了しました。

予防科では、最近の予防行政の動向を踏まえて、法制に関する高度な知識及び違反処理対策技術を専門的に習得させるとともに、建築物・消防用設備等の性能規定についても理解させ、実務において即戦力となる当該業務のリーダー育成を主眼とした講義構成としています。

研修内容としては、座学を中心に、消防庁の課室長による最新の予防行政に関する講義や消防行政に係る裁判事例、各消防本部の違反処理事例の紹介・解説の他、危険物規制業務及び火災調査業務の基礎の習得並びに課題研究及び講義演習等を学び、予防業務に関する教育指導者として、消防学校等における講師としての資質の育成・向上も目的として、時代の要求に即した教育訓練を実施しました。

校外研修にあつては、清水建設株式会社の技術研究所、能美防災株式会社メヌマ工場等の視察を行い、各種の実験や最新の消防用設備等及び建築物の施工状況を視覚的に確認することを通して、これらの設備等の理解を深めました。

また、第93期では、新たな試みとして本大学校施設の階段等を利用した、消防法第5条の3の規定による一連の命令書交付・公示までの流れを演習形式で実施する実践的な違反処理実習を取り入れ、関係者に対する説明、調書作成、命令書の交付及び接遇について、各学生のスキルの向上を図るなどの取り組みも行いました。

今後は、本大学校において習得した知識・技術や課題研究で取り組んだ事柄をそれぞれの所属において日々の業務に大いに活かすとともに、次代を担う優れた予防業務担当者の育成者としての活躍が期待されます。

問い合わせ先

消防庁消防大学校
TEL: 0422-46-1712



違反処理実習の様子



課題研究中間発表